



せとまちだより

SETOMACHI-COMMUNITY NO9

令和2年8月31日(月)
瀬戸地域まちづくり協議会
吉岐市芦辺町箱崎大左右触924
080-8574-5853
発行責任者 前田 清 信



瀬戸地域の皆さん、新しい生活様式実践されてますか？マスク・うがい・手洗い・人との間隔を開ける など心がけ、コロナが退散するまで互いに気をつけましょう！



少弐公園遊歩道の一部進入禁止区域が設定されます

昨今の頻繁な豪雨等により、吉岐神社(向かって右側)の崖が崩落しましたので、吉岐市より遊歩道の一部進入禁止区域設定について、瀬戸地域住民に周知してほしいとの依頼がありましたのでお知らせします。

令和2年12月1日より波切不動に通じる海岸線沿いの遊歩道について進入禁止となります。

今後の台風などの災害の状況により、進入禁止期日が早まる場合もあるということです。利用される方の安全面を考慮されたうえでの決定となっていますので、ご理解をお願いいたします。

(禁止区域については下の写真を参考にしてください。) ※ お問合せは吉岐市観光課へ

なお、禁止前にお参りなどで立ち入りされる時は十分ご注意ください。



← 赤 今回の崩落箇所
立神へ渡る橋の手前

他にも海岸線の亀裂や
神社下、駐車場海側崖
の崩落などあります



赤の区域が令和2年12月1日から通行禁止となります。
黄色の区域は現在通行禁止となっています。

ほんなごて暑かった今年の夏のイベント特集 特別だった2020年夏

精霊船流し

8月15日(土)いつもなら各公民館(恵美須除く)で、精霊船(ショウロウ船)のお参りをした後、漁協冷蔵庫横の広場に運び、瀬戸浦会々主催で、読経や御詠歌・焼香などをした後、棧橋から海に流し、一晩浮かべるといふ段取りが、今年は、新型コロナ感染防止という点から合同での行事は中止されました。



今年の仲町公民館の精霊船



2018年の写真

瀬戸納涼花火大会 瀬戸浦々会主催

今年は、新型コロナ感染防止という観点から全国的に中止になっている花火大会。瀬戸浦々会では、開催について慎重に審議されました。「疫病退散」という意味合いからも開催を強く望む声もあり、密にならないように事前に住民に周知をするなどの感染防止への協力をお願いした上で、開催を決定、いつものように寄付もあつまり、無事に花火大会は実施されました。



花火撮影者
吉岐市地域おこし協力隊
高田 望 さん 瀬戸在住



【子ども部会 世代間交流事業】レクレーション・ポッチャ



8月23日、瀬戸小学校体育館において、瀬戸地域まちづくり協議会（子ども部会）・世代間交流事業として瀬戸小学校、地域スポーツ推進委員の方々の協力の下、レクレーション・ポッチャが開催されました。

開催にあたり、瀬戸小学校校長先生、協議会会長の挨拶の中で、連日続く猛暑への熱中症対策、新型コロナ感染防止に十分配慮した上で、今回のレクレーションが地域の世代間交流を深め、楽しんで参加して頂きたいと話をされました。

今回の参加対象者は瀬戸小学校1～3年生、PTA、高齢者の3世代、9チームに分かれ、1試合3イニングで競技が行われました。白いガムテープに名前を書きビブスに貼る事で、お互いの顔、名前を覚えながら交流を図る事ができました。

地域スポーツ推進委員の審判によりゲームは進められました。ポッチャのボールを初めて手にされた方は「思ったより少し重たいね!」、「どんなふうに使って遊ぶの?」と興味津々。皆さん、ジャックボール（目標球と呼ばれる白いボール）に近づけるよう狙いを定め、赤・青それぞれのボールを投げたり転がしたりしました。ゲームに慣れてくると、最後の方は相手ボールやジャックボールを弾いて移動させ、自分のチームが優位に立てるような作戦も見られました。上手くいった時の嬉しそうな顔、狙った所に届かなくても、そこには笑顔がありました。

最後に閉会式において、優勝、準優勝。ベストプレイヤー賞、グッドマナーチーム賞、仲良しチーム賞の表彰があり、参加者全員に参加賞も準備されていました。

今回の交流（レクレーション）を楽しみながら、世代を超えてお互いが顔見知りとなり、出会った時に声掛けや地域の子供たちの見守りに繋がればと思います。

参加された皆さん、ご協力ありがとうございました。

参加できなかったお友達、次は、一緒に楽しもうね!



子どもの声

○最初は慣れなかったけれど、チームのみんなと教え合いながら楽しくできました。2年 平田心乃花 さん

○白いボールに近づけるのがむずかしかったけれど、だんだんに近くまでこがすことができるようになってよかったです。2年 久間 琉偉 さん

○ポッチャに参加してみて、最初は難しいかな?と思ったけど、ゲームをしていくうちにだんだんとわかってきて楽しくなりました。いろいろなチームと戦って、最終的に2勝2敗で5位になりましたが、とても楽しかったです。また、ポッチャやこのようなレクレーションがあったら、ぜひやってみたいです。

3年 立山 一樹 さん



5 ←ビブス

わたしは、おとうさんと、おかあさんと、おばあちゃんとぼっちゃんにきました。はじめは、むずかしかしそうだったけどやってみるととてもかんたんでした。じぶんがでるときはどきどきしたけど1かいしてみるとおうちでしたくなりました。かぞくのなかで、わたしがいちばんじょうずでした。ゆうしょうしてうれしかったです。

絵と文は 1年 まわりいきの さん



プレイバック写真
今月の2枚

昭和40年代は盆の14日はペーロン大会が開催されていました。写真はS40年優勝した向町チームで、撮影者は松嶋弘先生です。渡辺吉徳氏提供



私は
だ〜れ?



平成4年頃 瀬戸幼稚園

【次世代継承事業・赤飯の炊き方】

とき・ところ 8月2日（日）箱崎地区公民館
赤飯の炊き方 ①ささげ豆又は小豆の炊き加減
②赤飯の炊き方
講師は、西町 佐谷フキエさんをお願いして、炊き方を教えていただきました
材料と分量 もち米 2升 ささげ豆 2合

調理方法

1. もち米とささげ豆は前日の午後にそれぞれよく洗って、水につけておく
2. ササゲ豆を炊く・・・水を入れ中火で炊く（あまり柔らかくならない程度）炊きあがったらザルに打ち上げる 炊き汁は取っておく 炊き汁に砂糖・塩の順に適量いれ味付けする
3. もち米を蒸す・・・蒸し器にもち米を入れ、20分蒸す 20分蒸したら、別の大きめの容器に取り出し、ささげ豆をいれて混ぜる その中に、2で調合した炊き汁を全体にいきわたるようにまき、蒸し器にもどす 20分蒸したら完成



豆の炊き加減、塩の加減は一度に身につくものでなく、経験だと思いました

- オオバンゲーナ（大それたこと） ○オットちゃん（お父さん）○オッカシャン（お母さん）
- オンドム（私たち） ○オンドマ知らん（私たちは知りません） ○オシ（あなた）○オリ（わたし）
- オンちゃん（叔父、伯父 小児が大人を親しみて呼び） ○オゴオダ（挿んだ）（瀬戸浦史より）

今月のせと便

こえんこともあったばな・・・ とっしゃんのひとりごつ

小学生（S30年代）のころ、おし（あなた）おり（私）けえ（来なさい）という言葉を使ったら券をとられると、いうことを瀬戸小学校でしていました。今でもついつい言ってしまっていますが、当時は、悪い言葉として認識されていて、正しい言葉を使いなさいということだったのかもしれない。なつかしい時代です。